

今回から「農政運動に取り組む意義」や「参議院議員選挙の仕組み」について解説いたします。



Q 「農政運動」ってなんですか？

A 「農政運動」とは、**農家・JA役職員の声を集め、理解者を増やしてみんなの声にし、政治の場に届けて農業・JAの発展をめざす政治活動**のことです。



日常の課題

国内農業を取り巻く情勢が不安定

- 農業資材や飼料価格などが急激に高騰!
→ 農畜産物の出荷価格がそれに伴い適正な価格にならない
- 自然災害が多発し、局地的・被害規模も大きい

「農政運動」を展開

JAグループは全国のJAを通じて、**農家・JA役職員の皆さんの声を集め、政府や与党、地方行政などにも課題解決のため要請活動を展開**

政策の実現

課題の解決に向けて、**国から支援や対策を得る。**

(例)

- **新型コロナ対策**
農家個人に最大150万円を支給
※JAグループの実績
採択件数は10万円を超え、1、2次公募で約1,200億円
- **肥料価格高騰対策事業**
・肥料高騰分の7割補填(788億円)
- **高温対策栽培体系への転換支援**
・高温耐性品種の導入等、高温対策栽培体系への転換支援

などが実現しています。

次回は「農政運動のポイント」はなんですか？」

農政連菊池総支部 第35回通常総会 R6・9・27

農業者の切実な想いを届けよう

農政連とは、熊本の農業と政治を考える団体です。熊本県農業者政治連盟の下部組織として菊池総支部があります。(県下に11の総支部があります)



あいさつする東総支部長

パシオンで開いた菊池総支部総会には、理事や部会代表の委員と関係者約50人が出席し、今後の活動内容を協議しました。

総支部長を務める東哲哉組合長は「世界情勢の不安定化により、生産資材等の価格高騰・高止まりが長期化し営農継続の危機が深刻化している。菊池地域の農業を守り、更なる農業の発展のために我々農業者の想いを結集し、進み続けなければならない」とあいさつしました。

活動の3つの柱を掲げ、生産現場の意見・要望を積み上げ、農業者の所得増大や地域農業の活性化、農政運動や環境保全活動運動などを通じた一般消費者の理解促進とイメージアップを図ってまいります。菊池地域の農業、農業者の生活を守るため、心一つになって進んでいきましょう。ご理解とご協力をお願いいたします。

【活動の3つの柱】

- ① 総合的な農政の確立と農業政策・予算要望
- ② 課題別、品目別農政対策の強化
- ③ 農政推進体制及び情報活動の強化